

# 第9回 UNESCO ユースセミナー

日時；2024年10月19日～20日（1泊2日）

場所；国立オリンピック記念青少年総合センター（渋谷区）

参加者；3年生2名、2年生1名（合計3名）

主催；東海大学（<https://www.u-tokai.ac.jp/ud-global-studies/news/2197/>）

※上記 URL は大会閉会后リンクが切れる可能性があります。

## 今年度のテーマ「ジェンダー公平」

# 心とからだで感じるジェンダー公平

gender equity

**包括的セクシュアリティ教育(CSE)  
講演 / パネルトーク**

10/18

17:00-20:00

2024 FRI

無料 / 要申し込み

(先着300名)

以下のリンク・QRコードより  
10/17までにお申し込みください。



https://onl.bz/e8FLpKG

**講演者： ジェネル・バブ Jenelle Babb**  
**講演： ジェンダー公正な世界をつくるための変革的教育**  
 Transformative education for a more gender-just world



ユネスコのバンコク事務所を拠点に活動する健康と「ウェルビーイングのための教育」に関する地域アドバイザー。ユネスコ本部 (WHO) の健康教育課やカリブ海地域をカバーするオフィスや、ジャマイカの教育者などで、17年以上にわたってHIV予防教育、包括的セクシュアリティ教育、学校保健、若者の健康とウェルビーイングの分野で活動してきた。

17:00 同時通訳機材の貸出  
 17:45 会場参加型の自己紹介ゲーム  
 18:00 講演(ジェネル・バブ)  
 「ジェンダー公正な世界をつくるための変革的教育」  
 18:45 パネルトーク  
 「世界のいま、日本のいま」(ジェネル・バブほか)

滞在型イベント

第9回 UNESCOユースセミナー

10/19-20

SAT SUN

参加費：  
**8,000円** 申請校生  
**6,000円** (会場・滞在費・保険代を含む)

学校やユースグループ単位、個人で参加を  
 受け付けています(先着100名)。  
 参加のお申し込みは以下のリンク・QRコードより  
 10/10までにご連絡ください。



https://x.gd/4Y1J9

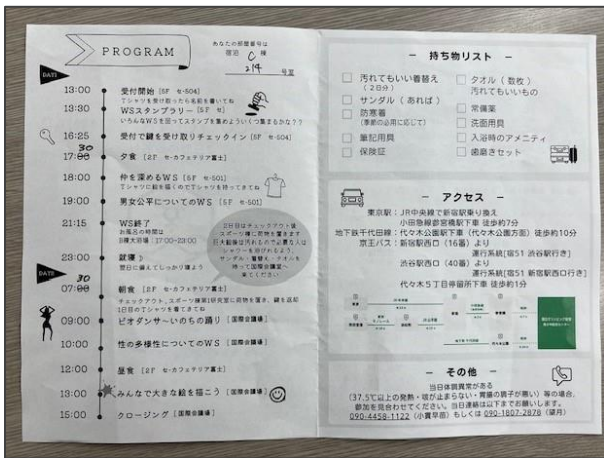



UNESCOユースセミナーは、ユネスコスクール、公立・私立の学校、民族学校、  
 インターナショナルスクールの若者たちが一堂に会する1泊2日の集いです。今  
 年のテーマは、ユネスコが進進する「ジェンダー平等」。多様な文化的背景を持  
 つ若者たちと、心とからだを使って「ジェンダー」について考え、感じたことを大  
 きな絵に描いて表現してみませんか。

Day1	Day2
13:00 受付開始	9:00 ビオダンサ -いのちの語り
14:00 ワークショップ(スキャンラリー)	10:00 性の多様性についてのワーク
18:30 仲を深めるミニゲーム	13:00 みんなで大きな絵を描こう
19:30 男女公平についてのワーク	



オリジナル T シャツの作成



今回のスケジュール



初日の午後

各ブースでのスタンプラリー形式のジェンダー教育



夕食はセンターのレストランでビュッフェ形式でした。



ユネスコ本部でジェンダー教育問題について担当されている方からの講義



2日目の午後

それぞれの想いを絵画で表現  
グループごとの作品や、全体の作品を  
思いのままに、自由に

【参加した有馬高校生へのインタビュー】

Q1 参加したきっかけは何ですか？

A1 このセミナーを通して、たくさんのことを学びたいと思ったから

A2 大学で心理学を学ぶので勉強になるかなと思ったから

A3 学校のクラスで配られたプリントで今回のイベントを知って、ジェンダーについてより詳しく学びたいと思ったから

Q2 参加してよかったことは何ですか？

A1 様々なことを学べたり自分が行く大学の先輩たちともお話出来たりして、友達も作れてとても楽しかった！！

A2 多様性について知らなかった知識をつけることが出来た

A3 同棲愛の話をより詳しく知れて、同棲愛者の友達とももっと仲良くなれるのではないかととも思いました

Q3 困ったことはありましたか？

A1 様々な国籍の方と話して、言語の違いがやっぱり難しいなーと思った

A2 1人だったら困ることが多いかなと思った。応募するなら友達と！

A3 特にありません

Q4 その他何かあればどうぞ

A1 とっても楽しかったです^^\_^^\_^^ありがとうございましたー！！

A2 たのしかった

今回参加した生徒は自主的に参加してくれました。参加の理由も、自身の将来、子どもの心理関係の大学に行きたいから、といった理由もあり、とってもよい前向きな気持ちを教えてくれました。

私自身も本イベントは初参加だったので、最初雰囲気圧倒されましたが、有馬の生徒はみんな友達作りがうまくて、すぐに他校の参加者と仲良くなって、一緒にワークショップに参加したり、お菓子食べたり、とっても充実した表情を見せてくれました。夕食後もジェンダーについての講義やワークショップがあり、翌日午後の絵画製作はなかなか凄くて、大学生や他県の高校生、大学関係者、ユネスコ関係者の多くの人と交流がもてて、自分自身の視野や活動の幅が広がった感じがしました。

今回の企画運営は東海大学の学生ボランティアさんが中心となり、文科省等関係各所に調整連絡をしていただき実施できました。

